

ドキドキキッズ きらきら園 H31(R1)年度 自己評価結果公表シート

1 園の保育理念

様々な経験を通して豊かな感性を育み、明るく元気にだれからも愛されるこどもに育つように、保護者や地域社会と連携を図り成長を見守ります

2 園の保育方針

家庭的な雰囲気の中、人との絆を大切に思いやりの心を育む
自然のなかでのびのび遊び、心身共に健やかな成長を見守る

3 園の保育目標

やさしい心を持った素直な子ども
何事にも楽しく取り組み、さいごまでやりとげようとする子ども
健康で活発な明るい子ども

4 評価項目、取り組み状況、課題・改善策

評価項目		取り組み状況	課題・改善策
保育環境	子どもが安心して過ごせるための環境整備	保育室内に危険なところがないかチェックしたり、ヒヤリハット事案を周知、検証し、事故のない保育施設を目指している。	事故は事前にその兆候があることを念頭におき、ヒヤリハットの記入の促進を職員内ですすめる。ヒヤリハット報告の振り返りの機会を増やし、事故を未然に防ぐ。
	子どもがのびのびと活動できるよう環境を作る	園庭のない園であるため、定期的に近くの公園に行き自然とふれあったり全身を使った遊びができるようにしている。	近隣の公園を利用しているため、他の利用者トラブルのないよう細心の注意を払うこと。お散歩の行き先については園内で日々の状況を管理できるようお散歩計画表にて管理、記録することとした。
	子どもが自由に遊びを展開し探究心を深められる環境を作る	受け入れの子どもの年齢、月齢や人数に応じて、保育室を区切ったりコーナー遊びができるようその都度最も適切な方法で環境を作っている。	子どもが主体的に遊べるよう、環境設定を再確認し、協議のうえ必要な玩具の準備を進める。遊びの適切な援助のために、日々、子どもの成長や状況について職員間で同一の意識を持てるよう情報の共有を意識する。年齢ごとの取組と遊びの内容についても同様に共有していく。
緊急時の対応	避難訓練と実施内容の検証	年間計画を立て訓練を通して各職員が状況を的確に把握し、行動できるよう努めている。避難訓練の内容と反省点についてその都度職員で話し合い、共通理解を深めている。	それぞれの訓練において、想定内のこと、想定外のことの可能性について活発に意見を出し合い、緊急時対応の幅を広げていけるよう努力する。
研修	保育所保育指針の確認	研修および個人面談にて保育所保育指針に沿い、園の教育理念・教育方針に従うよう各職員に周知徹底している。	園の方針、保育所保育指針、子どもの実態に即した最善の指導計画およびその実施に取り組んでいく。個人指導計画については個人の考えに頼らず、各職員の意見をとりまとめて記載する。
	職員の専門性を高める	職員は各種外部研修に参加し、専門知識の向上に努めている。学習した内容については職員会議にて全職員にフィードバックしている。	研修に参加する職員に偏りがないよう、それぞれの職員に参加を要請するようにする。フィードバックは研修後なるべく早く行い、知識の定着を高められるよう工夫する。
保護者対応	園での活動を積極的に伝え、保育の相互理解を	一人ひとりの保護者に対して、できるだけ声を掛け、子ども達の活動の様子など伝えるように心掛けている。日々の様子を交代でブログにアップし、活動内容や必要な情報等を分かりやすく伝える努力をしている。	園に対するアンケートにおいては、ほとんどの保護者より「親切」という声をいただき、懇切丁寧な対応ができていると考える。もっと保護者に寄り添った園となれるよう、アンケート記載の要望に対して、可能なものから一つずつ対応していきたい。
地域と園のつながり	園の立地を生かした地域とのつながり	園は須磨寺商店街の中にあり、商店街主催のイベントに園児も参加させてもらっている。散歩に出かける時に見守って頂いたり、色々とお声をかけてもらい、地域の方との交流を積極的に行っている。	地域の子育て家庭への支援も視野に入れ、一時預りの受入状況を開示したり、子育てイベントを行うことも積極的に進めていきたい。